

「発熱外来」高齢者や小学生以下などに限定、コロナとインフル“同時流行”に備え

2022年10月19日日刊ゲンダイ

現役世代は高熱でも発熱外来で受診できなくなりそうだ。

政府は12日、発熱外来を高齢者や小学生以下の子どもなどに限定して受診を呼びかける方針を固めた。インフルエンザと新型コロナの同時流行を想定し、重症化リスクの高い人の医療体制を確保するためだという。13日の朝日新聞が報じた。

中学生から64歳の基礎疾患のない人にはコロナの抗原検査キットで自主検査するよう促し、陽性なら自宅療養してもらおう。インフルやほかの病気を疑って医師の診療を希望する場合は、発熱外来ではない一般医療機関をオンラインや電話で受診。

抗インフル薬「タミフル」の処方を受けて自宅に配送する現状の仕組みを活用することも可能だという。

東京都は、両ウイルスの感染の有無を一度に確認できる抗原検査キットを約30万回分確保する。希望する医療機関に有償で配布。11月以降、新型コロナの診察や検査を行う医療機関を対象。

新型コロナとインフルは症状では見分けがつきにくい。同時流行で患者が発熱外来などに殺到した場合、医療逼迫の恐れがある。検体を一度採取すれば両ウイルスを同時に確認できる検査キットを使うことで患者の診察時間を短縮し、医師らの負担軽減につなげる。厚生労働省の専門家組織は、来春にかけて同時流行の可能性が「極めて高い」と指摘している。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●「感染再拡大の入り口に差し掛かる」東北医科薬科大学藤村茂教授

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c356fb9caa889a7eccalbac4002abcd8a6c81f2>

●接種間隔「3か月以上」に短縮へ 新型コロナワクチン追加接種

<https://news.yahoo.co.jp/articles/29f8dd4ba93a81508ec5b56f1e4a755aea0f2361>

●コロナワクチン生後6か月以上に対象を拡大 乳幼児接種の注意点を小児科医に聞く

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ed3dd966f75ce821fc99bcab9c1fbb0ad997363b>

●全数把握見直しから1か月 医療機関「負担軽減された」 鹿児島県はフォローアップセンター活用を呼びかけ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/30189b636222c31bdb82bf9f495be44a4da7a3fc>

●インフルエンザ・新型コロナの同時流行懸念専門家はワクチン同時接種できるの

<https://news.yahoo.co.jp/articles/17aa00150005874bad1d485dad2644a8840af6df>

●厚生労働省「マスクの着脱を無理強いしてはいけない！」についてお話しします♪

<https://www.youtube.com/watch?v=8cKRtW08tc>

●【民度か？】他国では既に、接種する人は減っているのが現状。そんな現状を踏まえてもこのような対応をする厚労省が・・・

<https://www.youtube.com/watch?v=erSmCJp3rvq>

今日のPDF紹介下線をクリック

●新型コロナ 自宅周囲の大気汚染で重症化リスクが上昇

●コロナ患者に多い血栓症の仕組みは？

●「感染再拡大の入り口に差し掛かる」東北医科薬科大学藤村茂教授